



## 主な事業の概要

事業の概要	担当部署
<ul style="list-style-type: none"> <li>尾瀬学校 本県の小中学生が一度は尾瀬を訪れることで、貴重な尾瀬の自然に直接触れ、かけがえのない環境の大切さを体感できるようにします。</li> </ul>	自然環境課

## 達成目標

目標の概要	基準年度の状況 (H20)	目標年度の状況 (H25)
<ul style="list-style-type: none"> <li>尾瀬学校に参加して、尾瀬にまた行ってみたいと回答する児童生徒の割合(尾瀬学校アンケート)</li> </ul>	70%	80%以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>尾瀬学校に参加して、自然を守ることや環境問題に興味をもったと回答する児童生徒の割合(尾瀬学校アンケート)</li> </ul>	70%	80%以上

## トピックス

### ・県立尾瀬高校の取組

尾瀬高校自然環境科では、全国から生徒を募集し、尾瀬国立公園を中心とした豊かな自然の中で、自然観察や環境調査などの体験的な活動を通して様々な課題を発見し解決する力を高めています。

そして卒業後も、ライフワークの一部として「自然とのふれあい」を啓発する活動を続け、自然環境の姿を多くの人に正しく伝えられる人材を育成しています。

#### < 県立尾瀬高等学校自然環境科の活動内容 >

学年	活動内容
1年	体験的に自然を学びます。(ガイドの話聞き、気づき、発見し、記録する。)
2年	テーマを持った課題追求をします。(調査し、考え、発表し、批評し合う。)
3年	自然について学んだこと、分かったことを伝えます。(自然解説、研究発表など)

### ・尾瀬高校の自然環境棟の一角にある尾瀬情報センター( )を充実させます。

尾瀬高校の自然環境棟の一角にあり、尾瀬やそれを取り巻く自然環境のデータやその保護に関する情報を収集し、分析・処理することにより、地元住民をはじめ多くの方々の尾瀬や自然環境に対する愛し方と保護意識を高めるとともに、尾瀬高校の充実と発展に役立てる目的で設置

- ・SPP(サイエンスパートナーシッププログラム)などにより、大学・研究所等との連携した活動を強化し、自然環境科の体験的な活動を充実させます。
- ・ホームステイ制度(ハートフルホームシステム)によって、全国から生徒を受け入れ、環境教育の拠点校として充実を図ります。